

平成26年11月27日
『ICTイノベーション講演会』を開催

北陸情報通信協議会（HICC）イノベーション部会は、ICT研究開発機能連携推進会議（HIRP）との共催により、11月27日（木）、ITビジネスプラザ武蔵において、「ICTイノベーション講演会」を開催しました。

講演会では、最初に「M2M、IoT等のクラウドを活用した最新動向について」と題して、株式会社インテックユビキタスプラットフォーム事業開発室 室長の堀 雅和氏から、M2M/IoT の市場は着実に拡大しており、M2Mはコスト削減目的だけでなく利益に繋がる利用目的が増加しているとの見通しや、インテックでは収集した現在データをリアルタイムで処理し、ビッグデータを高速分析することができる「ユビキタスプラットフォーム」サービスの提供により、ビジネスの革新を目指すと話されました。

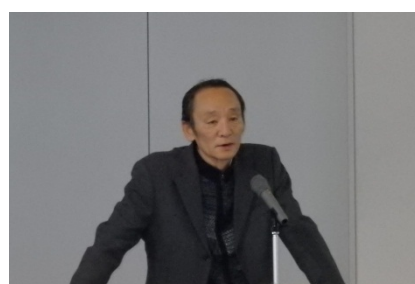
次に「一次産業分野でのICT利用検討結果について」と題して、（一社）石川県情報システム工業会 アドバイザーの金平 勲氏から、昨年まで取り組んできた農林水産部会での検討結果に触れ、農業の6次産業化にはICT利活用が必要であり、一例として、水回りに時間と労力を要していることから、水位センサーによる水田水位管理が有用と話されました。

最後に「北陸StarBED技術センターを活用した地域貢献について」と題して、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 教授の丹 康雄氏からは、（独）情報通信研究機構が石川サイエンスパークに設置したStarBED施設の活用による地域の優位性、有用性に触れ、当該施設を活用した各種のテストベッド等の紹介やサイバーセキュリティの人材育成に向け、総務省と文部科学省の施策連携による教材開発等を進めていくと話されました。

参加者45名は各々の講演を受け、ICT利活用によるイノベーションについて認識を深めました。



【堀 講師】



【金平 講師】



【丹 講師】



【講演会の様子】